

バレエ学科について



1951年に故ウィリアム・クリスチャンセンによって創立されたユタ大学バレエ学科は、その当時アメリカ唯一のバレエ学科として誕生した。クリスチャンセンは、西部アメリカを中心に活躍した芸術家。国内で初の「くるみ割り人形」を上演、サンフランシスコバレエ団を創立するなどアメリカダンス史の中で重要な人物である。故郷ユタ州ソルトレイク市に移住した際、バレエウエスト・バレエ団とともに、ここユタ大学でバレエ学科を立ち上げたのである。現在でも、大学レベルでダンスを専攻できる学校が数多い中で、バレエを専門としている学部はアメリカ国内でも数少ない。クリスチャンセンの愛弟子であったベネ・アーノルドが現在学部長を勤め、他にもニューヨークシティバレエ団で世紀の振付師バランシンに習った、コンラッド・ルドウロー、本場ロシアのワガノワバレエ学校卒業後ポリショイ・バレエで活躍したミーシャ・チューパコフなど、才能に溢れている。

現在でもバレエを専門としている学部は数少ない上、4年制だけでなく大学院も提供しているバレエ学科は、ユタ大学を含めアメリカ国内で2校だけである。今日では、カリキュラムの一貫として毎年海外公演・ワークショップを行うなど活動が盛んで、来春にはイギリスからロイヤルバレエ学校の生徒が訪れ合同公演を行うなど、国際的認知も高い。

ユタ大学バレエ学科では3つのカテゴリー（パフォーマンス・教育・キャラクターダンス）を提供しており、生徒は好みによって選択しそのカテゴリーを強調した教科課程を組むことができる。卒業するためには最低122単位必要で、そのうち36～39単位は一般教育で満たされなければならない。卒業後には美術の学位が与えられる。

学科内にはUtah Ballet（ユタ・バレエ）とCharacter Dance Ensemble（キャラクター・ダンス・アンサンブル、またはCDE）といった2つのカンパニーが所属している。



ユタ・バレエは学部内でもトップレベルのダンサーのみが入団を認められ、プロのカンパニーとして活動するグループである。年に2回行われる校内でのコンサートのほか、地域や国内外の公演に招待され、レパートリーも古典のみでなくモダン、コンテンポラリー・バレエなど幅が広い。

キャラクターダンスとは、フォークダンス・民族舞踊を古典バレエのスタイルにはまるよう様式化されたダンスの一種。「くるみ割り人形」3幕に登場するロシアの踊り（トレパーク）が良い例である。CDEに所属するバレエ学科の生徒は、世界中のあらゆる踊りを学ぶとともに、バレエやオペラに招かれゲスト出演するなど公演の機会も多数得ている。国際交流にも力を入れているCDEは、毎年海外公演・ワークショップツアーを行い、訪れた国の例ではロシアのサンクト・ペテルブルグ、イギリスのロイヤルバレエ学校、中国の北京舞踊学校、スペインのバスク地方などが上げられる。



先ごろ、東京のヴァレンティーノ・ダンスセンターに招かれユタ・バレエ、CDEのメンバーが日本を訪れることが決定した。その際には、翌年5月22日のガラ・コンサートにゲストとして参加する予定である。

生徒募集オーディション

アメリカの大学でバレエを学ぼう！

パフォーマンス・教師育成プログラム・キャラクターダンス・振り付け
ユタ大学バレエ学科はバレエに情熱を燃やす若いダンサーたちのためのユニークな学科。このたび、高卒の入学希望者を対象に日本で初めてのオーディションを行います。入学は、2010年1月、春学期になります。

広島会場 森川里美バレエアカデミー

2009年5月17日

東京会場 Valentino Dance Center

2009年5月23日

参加規程、詳細はこちらから<http://www.ballet.utah.edu/ja.htm>

お問い合わせ・質問は、ユタ大学代表窓口までterry0627@gmail.com